

平成19年度「専修学校を活用した再チャレンジ支援推進事業」成果報告書

事業名	再就職のための女性の再チャレンジ支援コース		
法人名	学校法人 伊達育英会		
学校名	四日市情報外語専門学校		
代表者	理事長 伊達 則彦	担当者 連絡先	日紫喜 良守 TEL 059-353-8118

1. 事業の概要

結婚、子育て等で就業の中断を余儀なくされた女性が改めて就業等に必要な知識(一般常識)・技術(特にITスキル)を習得したうえで、再度就職し、男女共同参画の社会を実現する目的で開催する。具体的には、

1. 告知(新聞チラシ、FMラジオ広告、記者会見、市民センター活用)・・・受講者13名中6名が市民センターでのチラシでこの講座のを知る、
2. 説明会・面接試験実施(受講者の決定のため簡単な適性試験、面接を実施、本当に就職する目的で受講する事、授業のカリキュラム、時間帯等を個別に確認)、
3. 能力開発(パソコンの授業(タッチタイプ、Word、Excel、検定対策)・一般常識)、
4. 就職支援講座(履歴書・職務経歴書・添え状の書き方、自己PR、面接の受け方)、
5. キャリアカウンセリング(キャリアカウンセラーの有資格者によるカウンセリング)を実施する。総授業時間数123時間(別紙「カリキュラム」を参照)を家事・子育て等を考慮して午前の部(9:20-12:10)か、午後の部(13:00-15:50)のどちらかで受講できるようにする。また、自宅にPC等が無いことを考慮して、自習の時間(講師を待機させ質問に対応)を午前の部(12:10-13:00)、午後の部(13:50-16:40)に設けた。

2. 事業の評価に関する項目

①目的・重点事項の達成状況

- 告知・・・13名の受講者のうち、市民センターによるチラシで知ったのが6名、新聞チラシ、記者会見によるのは3名、FMラジオ・HPによって知った人は3名で、不明が1名だった。
- 説明会・面接試験・・・本年度は、不合格者を出すことには重点を置かず、受講上の諸注意を確認して、全員に受講してもらうことに重点を置く。結果、説明会に参加した人はすべて受講となったが、途中一人が就職決定のため中断となる。
- 能力開発・・・昨年同様、パソコンの授業の前にサイトアンドサウンドシステムによるタッチタイプの授業を実施し、全くの初心者でも無理なく授業を受けられるようにする。自習時間を設けることによって理解度をより深めることができ、Microsoft Certified Application Specialist (Excel2007)の検定試験を12名全員が受験し、12名全員が合格(100%)した。また、本年度実施した一般常識を問う「日本常識力検定試験3級」に7名(12名中)が受験し全員合格した。
- 就職支援・・・履歴書・職務経歴書・添え状の書き方を指導した後、個別に相談し、各自の就職書類を作成する。また、一般常識とビジネスマナーの授業を実施して、職場で働く勘をとりもどした。就職説明会では、民間職業斡旋所による説明会を実施(一人就職が決定)。
- 個別面談・・・提出された履歴書・職務経歴書をキャリアカウンセラーがチェックしながら個別に就職相談に応じる。

②事業により得られた成果

- 告知方法・・・市役所の協力をいただき、市民センターにチラシ600枚配布して、子育て中の主婦の方々に周知ができた。
- タッチタイプの指導・・・パソコンの授業の前に、完全にタッチタイプでキーボードを打てるようになることで自信がつき、その後の授業への取り組みが変わった。
- 資格取得・・・MCAS(Microsoft Certified Application Specialist) の資格を全員が受験し、全員が合格する。アンケートには「資格取得が就職に向かって大きな自信になりました。」「みんなでレベルアップする雰囲気が出て授業に真剣に取り組めた。」「まだまだ自分もやれると思いました。」等、就職に向けて大きな成果があった。
- 就職支援・・・卒業時には、すでに3名が就職を決めていた。(1名は就職説明会を実施した企業へ就職、1名は事務職として勉強したことが生かせる職場へ就職、もう1名はPC技術が生かせる前職の関連企業への就職)その他の受講者も、修了後就職活動を始める予定で、1ヶ月後報告と3ヶ月後報告を受けることになっている。
- キャリアカウンセリング・・・就職に向かっての不安が大きいのので、個別に相談に応じて、ひとつずつその不安を取り除くことによって、自信を持って就職活動ができるようになった。

③今後の活用

- 初歩からの指導・・・パソコンはキー入力方法から指導すべきであって、タッチタイプができることが、様々なパソコン操作の学習への自信となる。今回も使用したサイトアンドサウンドシステムは、その点において効果があった。
- 資格取得・・・MCASの資格取得を目指したカリキュラムだったが、様々な副次効果があった。全員が受験することによって、全体でレベルアップというクラスの雰囲気が出たこと、合格することによって、まだまだ自分もやればできるという自信になって、もっと様々なものにチャレンジしようと前向きになれたこと、そして就職への自信につながったことなどである。
- キャリアカウンセラーの活用・・・2008年度の厚生労働省の取り組みに「ジョブカード制度」があるが、その中で「キャリアカウンセラー」が大きな役割を持っている。今回の事業でも、再就職に対する不安材料を個別に取り除くカウンセリングが大きな効果をあげる結果となった。

④次年度以降における課題・展開

- 募集について・・・市町村や県をもっと活用し、講座の告知をすべきである。今回、市役所を通じて、市民センターからの告知がかなり効果があった。
- キャリアカウンセラーの活用・・・就職に向けて、個別に抱えている不安、問題等を取り除くカウンセリングが必要である。また、どのように就職活動をするのかも、個別に状況が違うため一人ずつの指導が効果を挙げられると思われる。
- 職場実習の必要性・・・仕事からかなり長い間遠ざかっているような場合は、職場実習が必要である。個別に状況が異なるので難しいとは思いますが、それぞれに合わせた職場研修が組み込めると、さらに就職に向かって自信がつくと考えられる。

3. 事業の実施に関する項目

説明会実施(11/14 10:00)・・・8名出席

説明会実施(11/20 14:30)・・・5名出席

(副理事長挨拶、コースの内容、カリキュラム説明、アンケート記入、適性テスト、面接)

受講通知書発送・・・13名に発送(午前クラス・・・7名希望、午後クラス・・・6名希望)

オリエンテーション(12/17)・・・午前、午後のクラスの1時間目(教室の使用方法、欠席等の連絡について)

授業開始(12/17-12/28、1/7-2/13)・・・1日3時間(50分x3)授業を実施

MCAS検定試験実施・・・2/14に全員が受験し、全員が合格する。

就職支援・ビジネスマナー・・・一般常識・・・2/15-2/20

キャリアカウンセリング・・・個別にスケジュールを調整して、一人1時間の面談を実施。

修了式・・・2/29 10:00から理事長、副理事長、教務部長、担当教員出席のもと実施。

就職状況報告・・・就職状況報告書(1ヵ月後、3ヵ月後)を渡し、報告をしてもらうことを徹底。

就職決定者・・・修了式の時点で、3名の方が授業の関連職種で就職を決定していた。

(事業の特色、事業実施にあたり工夫した点等を記載)

当専門学校が、専門学校の授業や厚生労働省の委託訓練、三重県の委託職業訓練等で蓄積してきたノウハウをすべて使用して、女性の再チャレンジプログラムを支援しました。

例えば、

①募集方法の工夫、

②みんなで助け合いおちこぼれを出さないクラス運営のテクニック、

③全くの初心者がタッチタイプ習得するためのサイトアンドサウンドシステム、

④パソコン操作方法マスターのための授業の進め方、

⑤資格取得のための特別講座、

⑥就職するための準備、会社による説明会の実施、

⑦キャリアカウンセラーによるカウンセリングの実施

等をやってきました。

様々な委託訓練で3ヵ月後には受講者の75%以上の方が就職を決定するという実績を持っており、今回もその目的のために、あらゆる授業を実施しました。